

(次期計画)

教育・保育の「量の見込み」・「提供体制の確保」

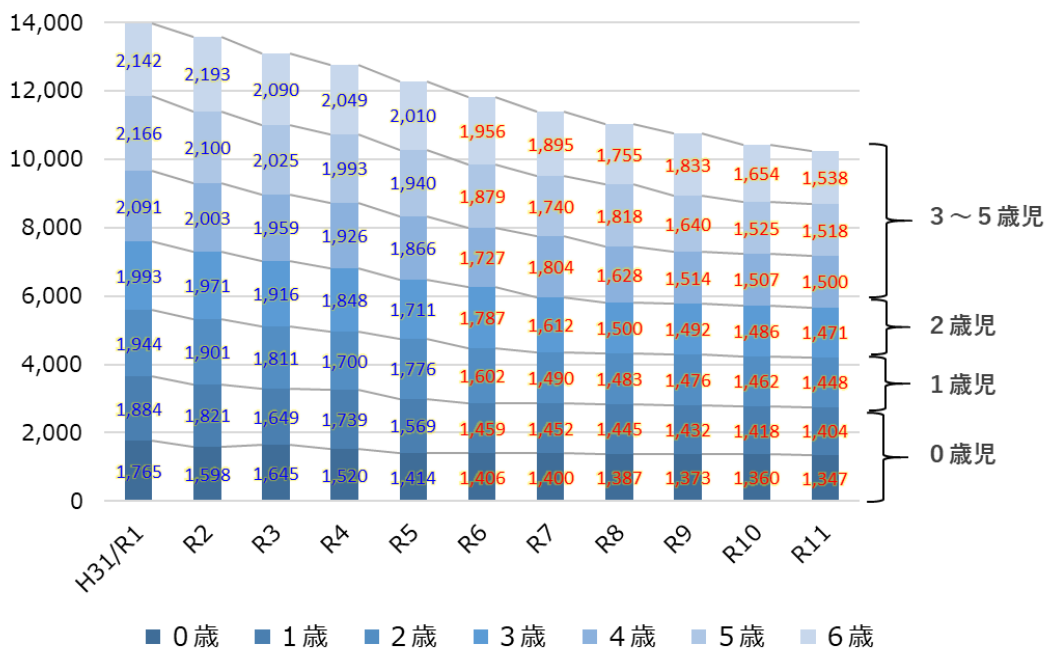
- (1) 教育・保育の量の見込み
- (2) 教育・保育の提供体制
- (3) 教育・保育の提供区域の設定
- (4) 保育認定の就労時間の下限
- (5) 教育・保育の提供体制の確保

(1) 教育・保育の量の見込み

①人口の推計値

※青字は実績値、赤字は推計値。

年齢		実績					次期計画の期間						
		H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
0歳児	0歳	1,765	1,598	1,645	1,520	1,414	1,406	1,400	1,387	1,373	1,360	1,347	1,334
	1歳	1,884	1,821	1,649	1,739	1,569	1,459	1,452	1,445	1,432	1,418	1,404	1,390
1歳児	2歳	1,944	1,901	1,811	1,700	1,776	1,602	1,490	1,483	1,476	1,462	1,448	1,434
2歳児	3歳	1,993	1,971	1,916	1,848	1,711	1,787	1,612	1,500	1,492	1,486	1,471	1,457
3～5歳児	4歳	2,091	2,003	1,959	1,926	1,866	1,727	1,804	1,628	1,514	1,507	1,500	1,486
	5歳	2,166	2,100	2,025	1,993	1,940	1,879	1,740	1,818	1,640	1,525	1,518	1,511
	6歳	2,142	2,193	2,090	2,049	2,010	1,956	1,895	1,755	1,833	1,654	1,538	1,531



- ◆令和5年度までは、住民基本台帳の実績を参照。(年度末時点)
- ◆令和6年度以降の0歳については、九州経済調査協会による人口推計の変動率を前年度の実績に乗じて算出。
- ◆令和n年度以降の1歳児～6歳児については、令和(n-2)年度のA歳が令和(n-1)度の(A+1)歳になったときの変動率を令和(n-1)度の実績に乗じて算出。

※例

年齢	実績	実績	
	R4	R5	R6
0歳	1,520	1,414	1,406
1歳	1,739	1,569	1,459
2歳	1,700	1,776	1,602

令和6年度の1歳 =
 令和5年度の1歳 ÷ 令和4年度の0歳 × 令和5年度の0歳

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、出生数(0歳の人口)は、
 - ・令和元年度から令和2年度は大幅に減少
 - ・令和2年度から令和3年度は増加
 - ・令和3年度から令和4年度、令和4年度から令和5年度は大幅に減少している。

②利用率の推計値

区分	年齢	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
3号	0歳児	0.281	0.272	0.278	0.307	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327
	1歳児	0.577	0.625	0.632	0.652	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665
	2歳児	0.593	0.574	0.616	0.621	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646
2号	3～5歳児	0.577	0.595	0.618	0.626	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632
1号	3～5歳児	0.414	0.405	0.385	0.375	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367
合計		0.692	0.703	0.713	0.723	0.738	0.738	0.738	0.738	0.738	0.738	0.738

◆平成 31 年/令和元年～令和 5 年

入所児童数（市内在住で市内施設利用+待機児童数+園指定待機児童数）÷人口推計

◆令和 6 年以降

令和 5 年度の利用率を据置

③教育・保育の量の推計値

区分	年齢	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
3号	0歳児	1,027	933	919	1,003	976	937	933	926	917	908	900
	1歳児	1,122	1,189	1,145	1,110	1,182	1,065	991	986	982	972	963
	2歳児	1,182	1,133	1,181	1,148	1,106	1,154	1,041	969	964	960	950
2号	3～5歳児	3,696	3,750	3,758	3,737	3,676	3,515	3,437	3,287	3,152	2,962	2,879
小計（2号・3号）		7,027	7,005	7,003	6,998	6,940	6,671	6,402	6,168	6,015	5,802	5,692
1号	3～5歳児	2,653	2,556	2,342	2,243	2,135	2,041	1,996	1,909	1,830	1,720	1,672
総計		9,680	9,561	9,345	9,241	9,075	8,712	8,398	8,077	7,845	7,522	7,364

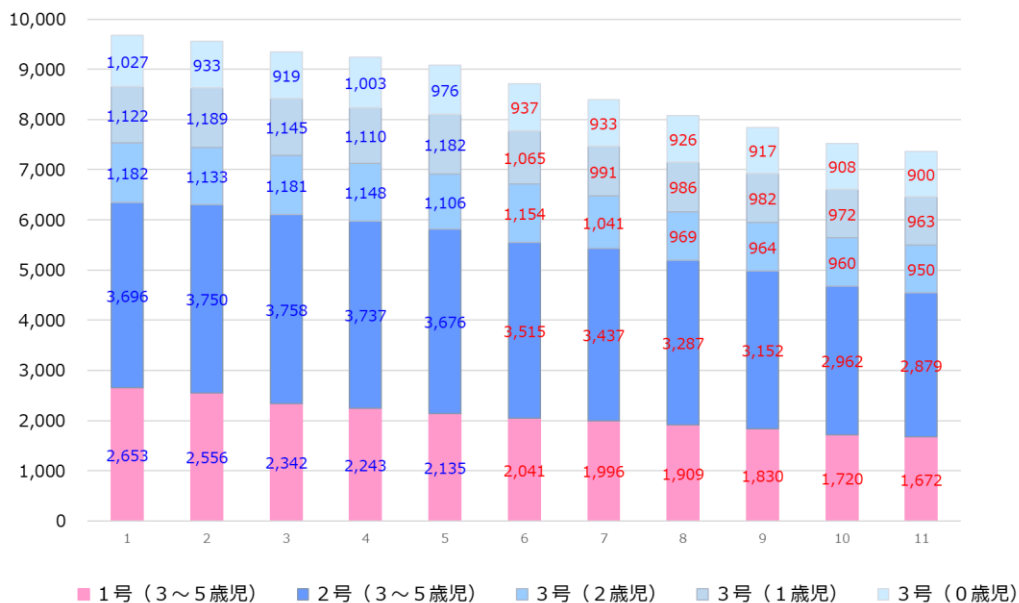
◆平成 31 年/令和元年～令和 5 年

入所児童数（市内在住で市内施設利用+待機児童数+園指定待機児童数）

◆令和 6 年以降

令和 5 年度利用率×人口推計

◆人口減少に伴い、全年齢減少すると予測。



(2) 教育・保育の提供体制

※青字は実績値、赤字は推計値。

No.	区 分	今期計画の期間←→次期計画の期間														
		H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11				
1	人口	A	0歳児	3,649	3,419	3,294	3,259	2,983	2,865	2,852	2,832	2,805	2,778	2,751		
			1歳児	1,944	1,901	1,811	1,700	1,776	1,602	1,490	1,483	1,476	1,462	1,448		
			2歳児	1,993	1,971	1,916	1,848	1,711	1,787	1,612	1,500	1,492	1,486	1,471		
			3～5歳児	6,399	6,296	6,074	5,968	5,816	5,562	5,439	5,201	4,987	4,686	4,556		
			合計	13,985	13,587	13,095	12,775	12,286	11,816	11,393	11,016	10,760	10,412	10,226		
2	市内児童で市内施設利用	B	3号 0歳児	1,027	933	919	1,003	976	937	933	926	917	908	900		
			1歳児	1,122	1,189	1,145	1,110	1,182	1,065	991	986	982	972	963		
			2歳児	1,182	1,133	1,181	1,148	1,106	1,154	1,041	969	964	960	950		
			2号 3～5歳児	3,696	3,750	3,758	3,737	3,676	3,515	3,437	3,287	3,152	2,962	2,879		
			1号 3～5歳児	2,653	2,556	2,342	2,243	2,135	2,041	1,996	1,909	1,830	1,720	1,672		
		合計	9,680	9,561	9,345	9,241	9,075	8,712	8,398	8,077	7,845	7,522	7,364			
		C	3号 0歳児	14	20	20	19	21	21	21	21	21	21	21		
			1歳児	26	21	23	21	31	31	31	31	31	31	31		
			2歳児	32	31	19	34	26	26	26	26	26	26	26		
			2号 3～5歳児	115	112	102	103	102	102	102	102	102	102	102		
1号 3～5歳児	148		137	125	116	115	115	115	115	115	115	115				
合計	335	321	289	293	295	295	295	295	295	295	295					
4	企業主導型保育事業利用 ※従業員枠を除く	D	3号 0歳児	36	46	49	56	61	61	61	61	61	61			
			1歳児	22	26	25	27	27	27	27	27	27	27			
			2歳児	11	8	13	11	14	14	14	14	14	14			
			2号 3～5歳児	4	6	14	14	20	20	20	20	20	20			
			1号 3～5歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			合計	73	86	101	108	122	122	122	122	122	122			
5	量の見込み (市内施設利用) B+C+D	E	3号 0歳児	1,077	999	988	1,078	1,058	1,019	1,015	1,008	999	990	982		
			1歳児	1,170	1,236	1,193	1,158	1,240	1,123	1,049	1,044	1,040	1,030	1,021		
			2歳児	1,225	1,172	1,213	1,193	1,146	1,194	1,081	1,009	1,004	1,000	990		
			2号 3～5歳児	3,815	3,868	3,874	3,854	3,798	3,637	3,559	3,409	3,274	3,084	3,001		
			1号 3～5歳児	2,801	2,693	2,467	2,359	2,250	2,156	2,111	2,024	1,945	1,835	1,787		
			合計	10,088	9,968	9,735	9,642	9,492	9,129	8,815	8,494	8,262	7,939	7,781		
6	提供体制の確保 市内施設利用 G+H+I	F	3号 0歳児	808	816	814	808	804	811	811	811	811	811	811		
			1歳児	1,101	1,117	1,141	1,144	1,151	1,164	1,164	1,164	1,164	1,164	1,164		
			2歳児	1,262	1,278	1,287	1,286	1,289	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294	1,294		
			2号 3～5歳児	3,529	3,553	3,618	3,572	3,584	3,595	3,595	3,595	3,595	3,595	3,595		
			1号 3～5歳児	3,692	3,506	3,225	3,220	3,130	2,932	2,932	2,932	2,932	2,932	2,932		
			合計	10,392	10,270	10,085	10,330	9,958	9,796	9,796	9,796	9,796	9,796	9,796		
			(1) 教育・保育施設 ・保育所 ・認定こども園 ・幼稚園	G	3号 0歳児	657	660	652	647	648	655	655	655	655	655	655
					1歳児	943	956	965	977	983	996	996	996	996	996	
					2歳児	1,104	1,109	1,105	1,107	1,112	1,117	1,117	1,117	1,117	1,117	
	2号 3～5歳児	3,510			3,529	3,591	3,544	3,559	3,570	3,570	3,570	3,570	3,570			
	1号 3～5歳児	3,692			3,506	3,225	3,220	3,130	2,932	2,932	2,932	2,932	2,932			
	合計	9,906			9,760	9,538	9,495	9,432	9,270	9,270	9,270	9,270	9,270			
	(2) 地域型保育事業 ※従業員枠を除く	H	3号 0歳児	118	123	120	116	114	114	114	114	114	114	114		
			1歳児	130	134	135	131	130	130	130	130	130	130			
			2歳児	138	143	145	140	139	139	139	139	139	139			
			2号 3～5歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			1号 3～5歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			合計	386	400	400	387	383	383	383	383	383	383			
(3) 企業主導型保育事業 ※従業員枠を除く	I	3号 0歳児	33	33	42	45	42	42	42	42	42	42	42			
		1歳児	28	27	41	36	38	38	38	38	38	38				
		2歳児	20	26	37	39	38	38	38	38	38	38				
		2号 3～5歳児	19	24	27	28	25	25	25	25	25	25				
		1号 3～5歳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		合計	100	110	147	148	143	143	143	143	143	143				
7	過不足 (量の見込み-提供体制の確保) F-E	3号	0歳児	-269	-183	-174	-270	-254	-208	-204	-197	-188	-179	-171		
			1歳児	-69	-119	-52	-14	-89	41	115	120	124	134	143		
			2歳児	37	106	74	93	143	100	213	285	290	294	304		
			2号 3～5歳児	-286	-315	-256	-282	-214	-42	36	186	321	511	594		
			1号 3～5歳児	891	813	758	861	880	776	821	908	987	1,097	1,145		
			合計	304	302	350	388	466	667	981	1,302	1,534	1,857	2,015		
8	施設利用率 (入所児童数÷人口推計) B÷A	3号	0歳児	0.281	0.272	0.278	0.307	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327	0.327		
			1歳児	0.577	0.625	0.632	0.652	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665	0.665		
			2歳児	0.593	0.574	0.616	0.621	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646	0.646		
			2号 3～5歳児	0.577	0.595	0.618	0.626	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632	0.632		
			1号 3～5歳児	0.414	0.405	0.385	0.375	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367	0.367		

◆量の見込みの対象は、「市内施設を利用する児童（市内・市外）の人数」

◆これに対する提供体制の確保として、「定員」を確保する必要あり

◆過不足（園指定待機児童を量の見込みに含んだ場合）

区分	年齢	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
3号	0歳児	-269	-183	-174	-270	-254	-208	-204	-197	-188	-179	-171
3号	1歳児	-69	-119	-52	-14	-89	41	115	120	124	134	143
3号	2歳児	37	106	74	93	143	100	213	285	290	294	304
2号	3～5歳児	-286	-315	-256	-282	-214	-42	36	186	321	511	594
1号	3～5歳児	891	813	758	861	880	776	821	908	987	1,097	1,145
	合計	304	302	350	388	466	666	981	1,302	1,534	1,857	2,015

- ・令和5年までは3号（2歳児）及び1号（3～5歳児）以外については、提供体制が不足している状況
- ・令和7年度以降についても、3号（0歳児）は提供体制の不足が続いている

◆園指定待機児童数

区分	年齢	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
3号	0歳児	187	158	214	276	251	251	251	251	251	251	251
3号	1歳児	39	43	53	34	36	36	36	36	36	36	36
3号	2歳児	19	22	14	18	11	11	11	11	11	11	11
2号	3～5歳児	9	3	3	2	5	5	5	5	5	5	5
	合計	254	226	284	330	303	303	303	303	303	303	303

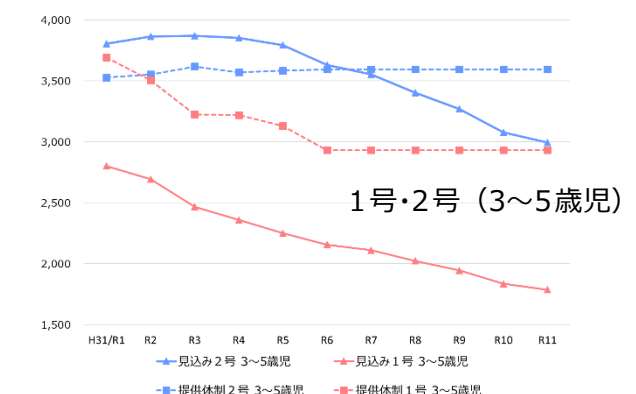
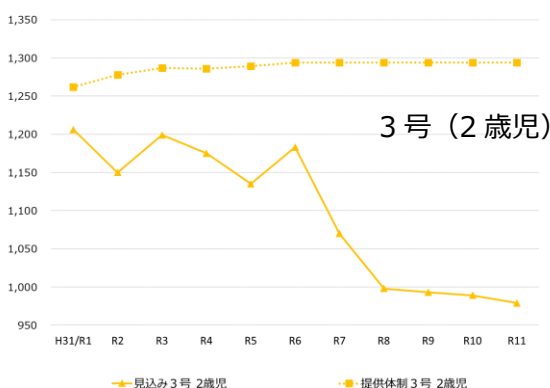
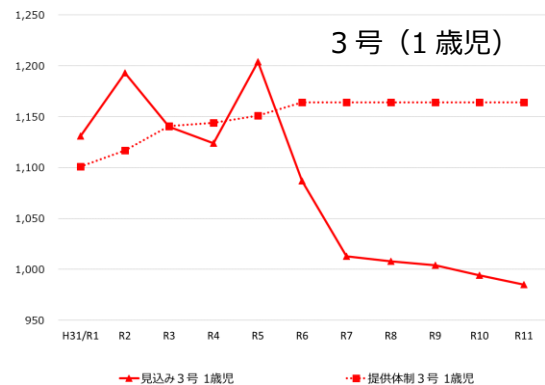
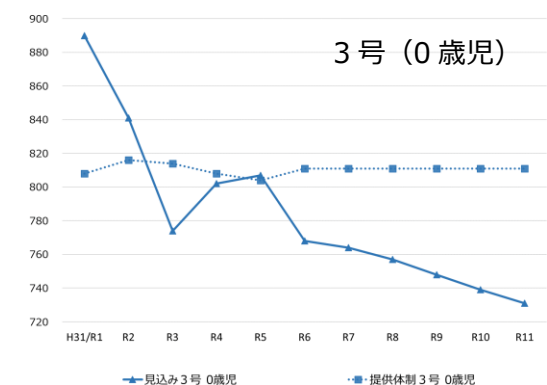
- ・令和6年度以降については、令和5年度の数値を据置
- ・令和3年度以降園指定待機児童が増加しているのは、待機児童の考え方を国に合わせたため。

◆過不足

区分	年齢	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
3号	0歳児	-82	-25	40	6	-3	43	47	54	63	72	80
3号	1歳児	-30	-76	1	20	-53	77	151	156	160	170	179
3号	2歳児	56	128	88	111	154	111	224	296	301	305	315
2号	3～5歳児	-277	-312	-253	-280	-209	-37	41	191	326	516	599
1号	3～5歳児	891	813	758	861	880	776	821	908	987	1,097	1,145
	合計	558	528	634	718	769	969	1,284	1,605	1,837	2,160	2,318

- ・数字上では、提供体制が不足しているが、実情は施設の弾力運用により、提供が図られていた。

全ての認定区分において、令和7年度以降は見込みに対して提供体制は確保できている。



(3) 教育・保育の提供区域の設定

第2期	第3期
1区域（市全域）	変更なし

◆教育・保育の提供区域とは

市町村が、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域。

◆第3期においては、第2期と同様に市全域で設定する。

・現在、保育需要と供給のバランスが取れており、施設を新規開設する必要がない状況。

(4) 保育認定の就労時間の下限

第2期	第3期
64時間／月	56時間／月

◆保育認定の下限時間は、1か月当たり48時間以上64時間以下の範囲で市町村が定めるもの。

◆下限時間を引き下げれば、保育の必要性があると認められる範囲が短時間勤務の家庭の児童にまで拡大され、保育需要の増加につながる。

◆現在、本市において待機児童は存在しておらず、第3期計画期間の教育・保育の提供体制は確保できる見込みであることから、下限時間を引き下げ、56時間に変更する。

(5) 教育・保育の提供体制の確保

◆第3期計画期間において、教育・保育の提供体制は確保される見込み

① 定員の適正化が図られているため、「施設の定員増による提供体制の確保」や「新規開設」は行わない。

※例外として、令和6年度末時点で存在する保育所（園）及び幼稚園が認定こども園へ移行する場合は、施設の新規開設を認めるものとする。

※例外として、令和6年度末時点で存在する認可外保育施設（企業主導型保育事業を除く。）が認可施設に移行する場合は、施設の新規開設を認めるものとする。（ただし、移行に伴う定員増は認めないものとする。）

② 今後、量の確保から質の向上へシフトしていく局面であるため、以下の視点などから施策の展開を図る。

- ・子育てに関わる新たなニーズへの対応（佐賀市こども誰でも通園制度試行的事業など）
- ・配慮が必要な児童等への支援（障がい児、発達障がい児の受入れなど）
- ・保育従事者の負担軽減（保育DX、保育士配置基準の見直しなど）
- ・保育従事者の人材確保・職場環境改善への取り組み（保育補助者等の雇用に対する補助など）
- ・施設や人材を活用した園の多機能化の推進